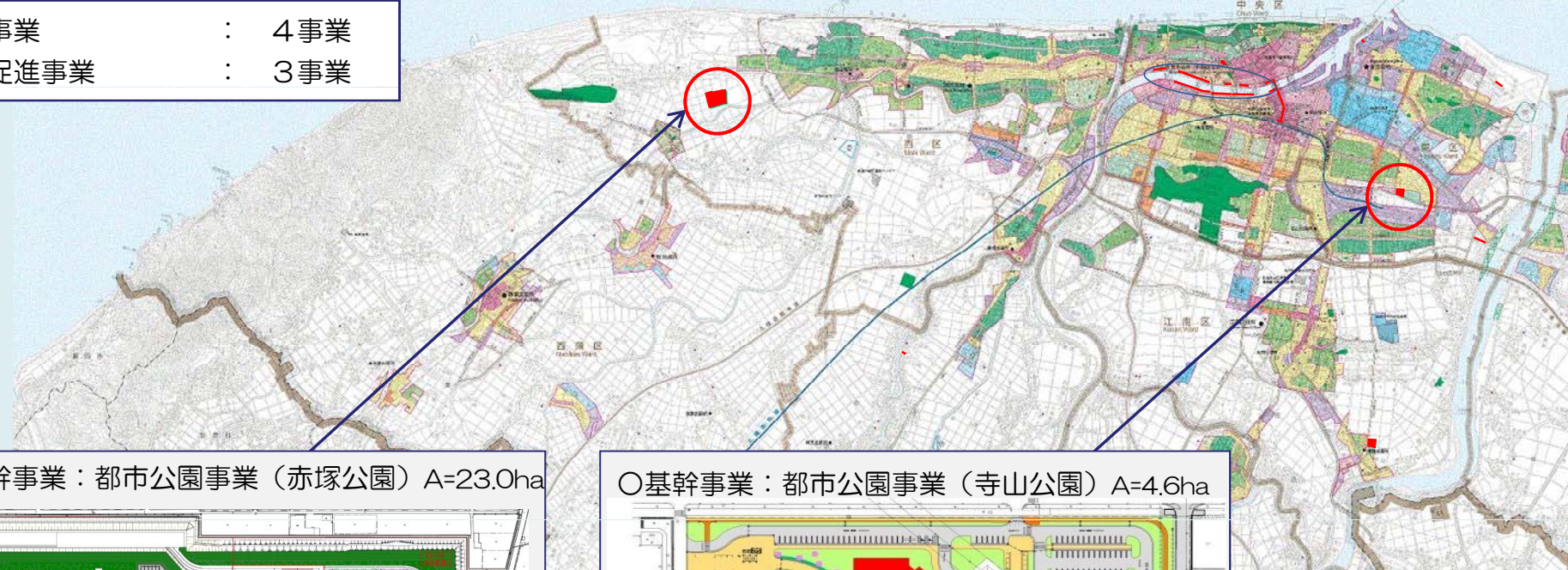


「緑豊かで魅力にあふれ、安全・安心な都市公園づくり」の計画概要

(社会資本総合整備計画)

計画の概要	計画の成果指標(定量的指標)				
	成果目標	定量的指標	現況値	中間値	目標値
◎計画の期間：平成28年度～平成32年度(5年間) ◎計画の目標 ・新潟市みどりの基本計画に基づき、多様な市民ニーズに対応した公園施設整備を推進する。 ・積極的な公共施設の緑化を通じて、温室効果ガスの吸収源対策を推進する。 ・公園施設長寿命化計画に基づく適正な維持管理の実施により、公園利用者の安全・安心を確保する。 ◎総事業費：約57億円	◎市民一人あたりの公園面積を8.5㎡/人(H28)から8.8㎡/人(H32)に増加	一人あたりの都市公園面積	8.5㎡/人(H28当初)	8.7㎡/人(H30末)	8.8㎡/人(H32末)
	◎供用開始年度における休日公園利用者数を赤塚公園で500人/日、寺山公園で1,400人/日を達成	供用開始年度の休日公園利用者数	0人/日(H28当初)	—	赤塚公園：500人/日(H29) 寺山公園：1,400人/日(H30)
	◎温室効果ガス吸収源対策に資する緑地をH29年度までに10,762㎡増加、高木の植栽によりCO2吸収量を3.8t/年に増加	温室効果ガス吸収源対策に資する緑地増加面積	9,390㎡(H28当初)	—	10,762㎡(H29末)
		CO2吸収量	3.7t/年(H28当初)	—	3.8t/年(H29末)
	◎都市公園におけるトイレのバリアフリー化率を50%(H28)から55%(H30)に増加	都市公園におけるトイレのバリアフリー化率	50%(H28当初)	—	55%(H30末)
	◎早期に改築が必要な都市公園施設の割合を0%(H28)から50%(H32)に増加	公園施設の改築完了率	0%(H28当初)	20%(H30末)	50%(H32末)
	◎公園の管理状況に対して「よく管理されている」と評価する利用者の割合を43%(H28)から45%(H32)に増大	公園の管理状況に対する評価	43%(H28当初)	44%(H30末)	45%(H32末)

- 基幹事業 : 4事業
- 効果促進事業 : 3事業



○基幹事業：都市公園安全・安心対策事業（長寿命化対策）
補修イメージ

補修前 → 補修後

※公園施設長寿命化計画に基づき補修しながら、可能な限り長く使い続ける「予防保全型」の管理手法にて、既存施設の長寿命化を図ります。

○基幹事業：都市公園事業（赤塚公園）A=23.0ha

〔計画平面図〕

○基幹事業：都市公園事業（寺山公園）A=4.6ha

〔計画平面図〕

○基幹事業：都市公園安全・安心対策事業（安全安心対策）
〔便所のバリアフリー化〕